事業評価調書

◎基本情報

年度		令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20658
事業名		観光行事助成費					
評価担当課	所属名	経）観光・MI　観光・MICE					
	課長名	西田	担当者名	南・森	電話番号	211-2376	
施策名	主	ー					
	副						
アクションプラン		○　対象　●　対象外			戦略ビジョン	●　対象　○　対象外	
事業の性質		●　経常経費　○　臨時的経費					
		○　内部管理　○　法定経費　○　指定管理					
事業内容	実施形態	○　直営　○　一部委託　○　全部委託　●　補助助成　○　その他					
	目的 短期	各まつり、イベントの安定的な運営と開催のため。					
	目的 長期	まつり、イベント集客による、来札観光客の増加・経済効果の増大のため。					
	取組内容	まつり、イベントの集客により、来札観光客の増加・経済効果の増大につなげる。 大通公園等で開催される各種まつり、イベント（ライラックまつり、YOSAKOIソーラン祭り、夏まつり、菊まつり）に対する補助を行う。					
	実施結果	・第63回ライラックまつり（オンライン開催）５月１７日～３０日 ・２０２１さっぽろ菊まつり１１月３日～５日 ・第68回さっぽろ夏まつり（オンライン開催）８月１４日～２９日 ※第３０回YOSAKOIソーラン祭りは中止					
事業実施における工夫点		各まつり、イベントの実施にあたり、実施主体である実行委員会事務局と綿密に打ち合わせ、安定的運営と魅力アップを図った。					
対象者		市民、観光客、市内外の商業者・観光業者		開始	0　年度	終了	0　年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況		政令市をはじめ、多くの自治体でイベント・観光協会に対する補助を実施している。					

◎事業費　（単位：千円）

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	20,941	23,800	23,800	23,800
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.4	0.5	0.5	0.5
人件費	2,880	3,600	3,600	3,600
計（事業費＋人件費）	23,821	27,400	27,400	27,400

事業費の内訳	令和3年度決算	・さっぽろライラックまつり実行委員会　４，１００千円 ・YOSAKOIソーラン祭り組織委員会　２，７００千円 ・さっぽろ夏まつり実行委員会　１４，０００千円 ・さっぽろ菊まつり実行委員会　３，０００千円
	令和4年度予算	・さっぽろライラックまつり実行委員会　４，１００千円 ・YOSAKOIソーラン祭り組織委員会　２，７００千円 ・さっぽろ夏まつり実行委員会　１４，０００千円 ・さっぽろ菊まつり実行委員会　３，０００千円

◎検証（振り返り）

活動指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	さっぽろライラックまつり観客数		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	開催中止	700,000人	オンライン開催	700,000人
成果指標2	指標名	夏まつり観客数		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	開催中止	2,000,000人	オンライン開催	2,000,000人

項目	判定	理由
事業の成果（目的をどの程度達成できたか）	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止や開催内容の変更を余儀なくされたため、当初目的の達成について評価はできないが、本市の基幹産業である観光業の一翼を担う取組としてその必要性を再認識した。
事業規模（事業ボリュームは適切か）	A	新型コロナウイルスの影響がなければ、例年目標に近い、または超える集客があり、適切なボリュームで実施されている。
事業の実施手法（事業の効率性、実施主体は適切か）	A	各まつり、イベントとも実行委員会としての事務局を札幌観光協会やYOSAKOIソーラン祭り組織委員会が担っており、効率性や民間手法を取り入れるという観点からも適切である。
対象者の満足度（対象者のニーズに応えているか）	A	例年、各まつりで会場のリニューアルや新コンテンツの実施等魅力向上への工夫を行い、キャッシュレス決済や禁煙への取組など来場者への利便性向上に努めている。 新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度までは、来場者数も一定数を維持しているため、来場者のニーズに応えられているものと考える。

市民参加の実施	■ 企画　■ 実施　■ 評価　□ 対象外	市民参加結果への対応	■ 回答　□ 反映
今後の改善点	来札観光客の増加、経済効果の増大の他、市民にも楽しんでもらえるようサービス向上に取り組む。		
前回の評価	● A　○ B　○ C　○ 評価省略対象事業・前年度実施なし		
今年度取り組んだ見直し内容	感染拡大防止対策を意識したイベントの実施	見直し効果額（前年度）	0 千円
今回の評価	● A　○ B　○ C　○ 評価省略対象事業・前年度実施なし		
評価の理由	例年、一定以上の来場者数が確保できており、市民・観光客の満足度が高いイベントとして今後も維持していく必要があるものと考えている。		

次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善　● 現状維持　○ 休止・廃止		
		現状維持での開催を基本としつつ、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた取組を引き続き検討していく。		
	予算	○ 拡充　● 現状維持　○ 縮小　○ その他		
		現状の予算規模の中で、さらなる魅力を高められるよう実施していく。	見直し効果額	0 千円